

学生新聞

放送大学
埼玉学習センター
埼玉CSC交流会
学生新聞
編集委員会
〒330-0853
さいたま市大宮区
錦町682-2
TEL.048-650-2611

埼玉学習センターから 2名の名誉学生誕生！

学生新聞第7号で紹介した「染谷福一」と「萩原幸子」さんの2名が放送大学名誉学生に！

名誉学生制度は、グラウンドスラム達成者(教養学部)の全コース卒業生(教養学部)について、名誉学生の称号を付与し、卒業後の学習センター利用等を可能とする新たな制度で、名誉学生には、以下の特典が付与されます。

- ①学習センター図書の見学及び視聴覚教材の視聴
- ②学習センター及び本部主催事業への参加(学生研修旅行、講演会等)
- ③学習センター及び本部発行の機関誌等の提供
- ④面接授業の聴講(受講は所長および講師の了解の上。授業料は徴収しない)
- ⑤セミナーハウスの利用
- ⑥印刷教材の割引販売(学生と同様1割引)
- ⑦名誉学生証の発行



インタビュー

去る3月、グラウンドスラム(6専攻卒業)を達成され、今回名誉学生を付与された染谷福一さん、萩原幸子さんのお二人にお話を伺いました。

Q 放送大学に入られた動機やきっかけは
染谷さん 職場の欧州視察研修に参加したのを契機に、仕事に関係する知識を高めようと入学しました。

萩原さん 二人目の子が小学校に入るのをきっかけに、保育園の送り迎えが終わり時間に余裕ができたので、以前からあこがれていた放送大学に入りました。

Q 長く学習を続けられた理由や秘訣は
染谷さん 最初の卒業式で先輩から進められ再入学しましたが、少しでも教養を深めたいと思い学習するうち今日を迎えました。

萩原さん 仕事を第一と考え、好きなことをするのだから今回だけでも次回があるさというふうを考えて、趣味のような感じで学習しました。

埼玉学習センター 開講二十五周年 記念行事 スタート！

埼玉学習センターは、今年度開講25周年を迎えた。

その第一弾として、次のとおり25周年記念公開講演会を開催する。

開催日時
平成22年7月10日(土)
午後1時30分(予定)

場所
埼玉学習センター
8F講堂

大学説明会開催

大学説明会(学習相談を含む)を実施します。
(在学生も参加できます。)

平成22年6月27日(日)、7月10日(土)、8月14日(土)、8月22日(日)

時間
いずれも午後2時～

内容
大学紹介ビデオ放映
大学の概要説明、履修案内、卒業生の体験談、施設見学個別相談など

学生募集

平成22年度第2学期教養学部「全科履修生」「選科履修生」「科目履修生」及び大学院文化科学研究科「修士選科生」「修士科目生」並びに平成23年度大学院修士全科学部の学生募集を左記の日程で行います。

皆さんの友人・知人も放送大学の素晴らしさ、学ぶことの楽しさを伝え一緒に学友になりませんか！

出願期間
平成22年6月1日(火)～平成22年8月31日(火) 必着

但し、大学院修士全科学部は、8月20日(金)から9月10日(金)募集要項の配布は、6月15日(火)から

出願方法は、インターネット又は郵送(本部)

探訪コーナー第八回 文京学習センター

第4号で学外探訪した「文京学習センター」の記事で、建替え・移転を取り上げたので、移転先の東京北区の旧西浮間小学校跡の仮校舎を訪問した。運動場に面した窓に「校長室」の張り紙がそのままの小学校だった面影が残っている事務長室で、4月に新しく赴任した馬場政二事務長が応対してくださった。

「アクセスと環境」
学習センターへの交通手段はJR埼京線だけで、しかも各駅停車しか止まらずに不便であるが(ホームでは快速が通り過ぎていく)、その不便を補うように、最寄りの駅「浮間舟渡」からは徒歩1分のいわゆる「駅そば」である。しかし、都心から離れたことが、全国一を誇っていた入学者数が、今年度減少した一因かもしれないとのことである。

駅の反対側の「浮間公園」は自然豊かで、面接授業や試験の合間に一息入れることもでき、環境は抜群である。

仮校舎は3階建てで、運動場・体育館・プールもあつて、外見は「学び舎」の環境は整っているが、見た目とは大違いであることが、馬場事務長の説明で分かった。校舎は1・2階のみ使用可で(3階は放送大学の旗を掲げるだけ)、プールは「カルガモちゃん」が占有、体育館と運動場は近くの中学校の生徒が使用のため、大きな掛け声は面接授業に支障をきたすこともあるという。7月末～8月初旬の試験期間中は、自用自粛の申し入れをしたなどの事である。

小学校だったため各講義室は42名収容と小さく、移転後、初めての行事であった4月の「入学者の集い」に、150名余の出席予定者をどうするかとの問題が生じ、2回に分けて行ったとのことであった。9月末の学位記授与式は近くの区の施設を借りて行う予定。4月10日の茗荷祭では、名物の菜遊会野菜バザーを始める。

め、学生・同窓生の出店に混じり職員も「お好み焼店」を出店し、関係者が一体となって仮校舎での出発の結束を固めた。

「今後の期待」
文京センターの蔵書は4万冊以上あるが、仮校舎では一箇所には収容しきれなく、1階と2階の2箇所にも収容し、学生の要望によって職員がその都度1・2階を行き来しなくてはならない。仮校舎の不便と、各講義室が暗く狭いのを補うように、プレハブの視聴覚室と学生ホールだけは、明るく清潔なのが救われる。

全国の学習センターの中でも、面接授業の科目数と定員の多さを誇ってきた文京学習センターが、来年度4月の新校舎開校にどれほど期待しているかを図面を広げて説明してくださった馬場事務長のお言葉の中に伺われた。

(笹原、岡里)



サロンは、教員と学生の皆さんとの架け橋です。授業とはひと味違った専門から身近な話題までを取り上げ紹介するとともに、皆さんと気持ちを分かち合うひと時です。どなたでも歓迎します。どうかお気軽にご参加ください。

笹原誠二

学生手帳
運動不足
我が国は、急激な少子高齢化が進む中で、生活習慣病が増加し、その防止策として、栄養・休養・運動の3つのバランスを保ちながら、私たち一人ひとりが自らの日常生活の中で、日ごろの生活習慣を改善していくしかない。

私も会社勤めをしていたころは、片道100分余りの通勤時間や昼食時の散歩を利用して、毎日一万歩は歩いていて、休みの日もあちこちに出かけていたので、そんなに運動不足を感じたことはなかった。しかし、退職後は栄養と休養の面では十分だが、運動不足ではないのかという不安を常日頃感じていた。

幸いなことに、この10年間は毎年定期検診やがん検診を受けても、特に健康上の問題点を指摘されたことはなかったし、体の異常を感じたこともほとんどなかった。しかし、昨年末に風邪をこじらせ39度近い高熱を出し、あつという間に「肋膜炎」の肺炎菌侵入による胸膜炎」を発病し、2カ月余りの通院生活を送った。その間は呼吸困難と胸の痛みで安静状態が続き、大変不安な状態であった。

どうとう、自分も生活習慣病やがん予防が必要年齢になったことと日ごろの運動の必要性を実感したのである。要は、過去どのくらいの運動をしていたから大丈夫と安心することなく、今現在必要な運動をしっかりと行うことが大切である。

放送大学在学中で印象に残っていることは

染谷さん 平成15年度和歌山学習センターの「磯の生き物について学ぶ」は、民宿に宿泊しての1泊2日の体験学習で飲食や就寝までの交流に加え、大学の窓の取材を受けるなど忘れられない授業となっていました。

萩原さん 体育の実技でオリエンテーリングに参加し、そこでみんなで話しながらおこなったのがとても楽しかったです。面接授業で年金問題が聞きたくて神奈川学習センターへ聞きに行きました。

Q 放送大学や在学生に望むこと
染谷さん 各地の学習センターでは、その地域ならではの興味深い科目がたくさんあります。時間や経費の問題もありますが面接授業の内容をよく確認し積極的に参加してください。

2 埼玉でも「鉄道の歴史と未来」「城下町川越の歴史と文化」「秩父事件と民衆の暮らし」など現地視察を取り入れた科目など開設し、全国に埼玉学習センターをアピールいただけたらと思います。

放送大学在学中で印象に残っていることは

萩原さん 学習センターで面接授業を受けたりと、学生なのだと思います。また、仲間がたくさんいるのだと実感します。これからも、充実した面接授業の時間をふやしてほしいと思います。

Q 今後の予定や抱負をお聞かせください
染谷さん 大学院で学習する決心はつきませんが、選科履修生又は科目履修生として学習を継続したいと思っています。

萩原さん 気がついてみると、20年かけて全専攻を卒業してしまいました。単位数をみると321単位取得してしまいました。楽しかった学生生活が終わってしまい残念という感じです。あまり熱心に勉強していかないのに、名誉学生証をいただき、実績がともなわずとも恐縮しています。生活の一部となっていた放送大学なので少し休んでから大学院の選科生になりたいと考えています。そして最後には卒論を書きたいと思っています。

ご多忙の中ご協力ありがとうございました(若松)

サロンの予定

平成22年度第1回
サロンまつり
「遺伝子とともに」
歌いましょう

6月23日(水) 13時30分
分から14時30分の予定で、第2講義室で開催されます。

浜離宮 第4回 荒川良雄

兵を従へ將軍の馬車は延遠館へ向つたのでした。

前回(第3回)では、王政復古を宣言し、諸外国と外交を重視する新政府が、迎賓館として延遠館(えんりょうかん)の整備を進めたことを書きました。

今回は、延遠館を利用した外国賓客のことです。一八七九(明治十二)年以降外国貴賓の来朝が増え延遠館はその価値を発揮しました。

一八七九(明治十二)年五月ドイツ皇族、七・八月 米国前大統領グラント、十一月イタリア皇族。一八八二(明治十四)年三月ハワイ皇帝カラカワ、十月 英国皇族。一八八四(明治十七)年スエーデン皇族。一八八七(明治二十)年 独逸・露国皇族などが挙げられます。

明治天皇とグラント

前米国大統領

グラント前米国大統領は、通称をグラント將軍(本名はユリシーズ・グラント、以下「將軍」という)と呼ばれ、アメリカ南北戦争当時北軍の最も有名な將軍でした。南北戦争後アメリカ合衆国第十八代大統領に選ばれた。後に、二年に及ぶ世界漫遊の帰途、我が国を訪れ熱狂的な歓迎を受け、夫人等を伴った一行の乗艦が長崎経由で一八七九(明治十二)年七月三日横濱に着き、岩倉具視、伊藤博文、西郷従道、井上馨がお供をした特別列車で新橋駅に到着、さらにやかな東京鎮台の儀仗



ハワイ皇帝カラカワ

一八八二(明治十四)年三月四日ハワイ皇帝カラカワが横濱に到着、延遠館を宿舎とし五日に皇居へ参内しました。ハワイに王国が存在したのは一八一〇(文化七)年七代將軍徳川家斉から一八九三(明治二十六)年で、カラカワは第七代

サークル紹介

サークルおのみや

5月25日(火) 深大寺・神代植物公園散策
午前10時、京王線新宿駅中央口改札に集合
6月16日(水) 「東京スカイツリー見学と浅草散策」
午前10時、東武浅草駅改札口に集合
7月9日(金) 「上野国立西洋美術館・カボデイモンテ美術展」
午前10時、上野東京文化会館ロビーに集合

おわり

【追記】

ハワイが何故にアメリカに併合されたのか疑問を持たれる読者もおられると思います。疑問を一歩進め、自分で謎解きにチャレンジするのも一興と思えます。

随想二題

永見洋介

『ビールの缶からルビー』

「な、何に！ カンビールでルビー？」
いいえ「ビールの缶からルビー」です。前々回の研修旅行で行った筑波産業技術総合研究所で展示してあった、人工ルビー合成装置のことについて解説してみよう。
白く酸化腐食したアルミ缶と人工合成した赤色のルビーが装置の傍に置かれていた。クロムを添加した酸化アルミニウムを搗き固めて白墨形状にして原料とする。装置はハログランプを熱源としたお椀型の反射鏡が左右対称になっている。真空引きされた石英管の中にルビーとなる原料棒が吊り下げ

7月3日(土) 田村家文書、論語

トレヴィイの会

6月19日 午前10時 短歌を楽しむ会 埼玉学習センター
その他
さいたまフェスタ出演のオカリナ演奏会の準備を行っています。毎月1回の練習を行っています。よかったら見学して、将来は仲間に入っていただければと思っています。
次の練習日 5月26日(水) 午後1時 埼玉学習センター

読み語りの会 熟年会創立十周年記念事業 会員以外の方も参加歓迎

プロの読み語りを聞いてみませんか！
演目(アイウエオ順)
「初めてのお年玉」(青木玉作) 稲垣文子、
「ラブ・ミー・テンダー」(江国香織作) 杉山裕子、
「ハゲについて」(浅田次郎作) 鈴木卓郎、
「おぼしめし」(三浦哲郎作) 津山博、
「包丁」(石川結貴作) 広瀬未来
この会はどなたでも参加できます。無料です。

俳句

桜散る 満目蕭条 尚寂し 静哉
鯉のぼり 風待ちわびる 子等の顔 安代
竹の子と 丈比べして 端午の日 光娥
風薫る 明治の杜や 嫁ぐ娘(ひと) とく江
昆明湖 老爺が畔に いかのぼり 八重子
潮干狩り 貝もにげたし 人の波 智子
あやめ咲き 晴姿姿なり 愛むすめ 保子
(つみ草)

日本狼にロマンを求めて 「日本狼探検犬ビッキー」

絶滅したと言われている日本狼に、生存の希望を持つ人たちがいる。狼はとても用心深く、人前には姿を見せる事が無いというが、「ウーワウ」と短く吠える声を聞いたなどと、生存の希望を持つ素敵なロマンを持つ人たちの希望だ。この大人の夢を託されたのが、「狼探検犬 ビッキー」である。
中央線 初狩駅の近くに高川山があり、1時間程度で登ることができる。ここは以前の赤い百円札の富士山の景色の場所、ここから見る富士は素晴らしいと有名である。頂上には雌犬ワ

川柳

四倉光
卒業が 目当てじゃないと シラを切り
カラヤンの 悲愴枕に 船を漕ぐ

連句

連衆 熟年会
発句 初花や 掃き清めたる 杜の中(とく江)
脇 塔の麓に 光あふるる (光娥)
第3 背に重く 夢いっぱい (雲水)
第4 つなぐ手と手に 母子のきずな(順子)
第5 いままで 幸せなれと にぎりしめ (四倉)
第6 九連宝灯 手を合わせ (光源氏)
第7 卒業は 棚上げにして お気楽に(靖乃)
第8 月日は流れて 卒業できた(ニユートン)

編集後記

若葉が美しい季節になりました。ようやく天候の方も安定してきました。行楽の季節ですが、通信指導の提出もお忘れなく学習の方もがんばりましょう。
編集部からのお願い
随想(八百字程度)、詩歌(百字程度)、写真・イラスト(二ないし二枚)を募集しています。また、学生に有益なイベント情報も提供をお願いいたします。次号の原稿締め切りは7月3日です。奮ってご応募ください。